獣医学教育評価

所見記入用紙・評価結果（分科会案）（様式）

＜分科会名＞

　　獣医学教育評価第〇分科会

評価者氏名　　○　○　○　○　○

# **１　使命・目的**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：使命・目的**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **1-1** | **獣医学教育（学士課程）の使命・目的及び当該獣医教育（学士課程）を設置する大学の理念・目的を踏まえ、養成すべき人材像を明らかにした獣医学教育（学士課程）の目的を独自に設定していること** | **・獣医学教育（学士課程）の目的の明確性と適切性****・目的における独自性と多様性の視点****・設置する大学の理念・目的との連関性** |
| **1-2** | **獣医学教育（学士課程）の目的を教職員及び学生に周知し、かつ広く社会一般に公表していること。** | **・目的の周知・公表方法****・周知活動の効果の把握** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

# **２　教育の内容・方法・成果**

 　　　　　　　　　　　　　　　　　**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-1** | **獣医学教育（学士課程）の目的に基づき、修得すべき知識・技能・態度など期待する学習成果を明示した学位授与方針を策定していること。また、これを踏まえて教育課程の体系、教育内容、授業科目区分、授業形態等を明示した教育課程の編成・実施方針を策定していること。** | **・学位授与方針の策定****・学位授与方針における修得すべき知識・技能・態度など（臨床能力を含む）期待する学習成果の明示****・教育課程の編成・実施方針の策定****・獣医学教育（学士課程）の目的と学位授与方針の整合性****・学位授与方針と教育課程の編成・実施方針の整合性** |
| **2-2** | **学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を教職員及び学生に周知し、かつ広く社会一般に公表していること。** | **・学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の周知・公表方法****・周知・公表方法の効果の把握** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：教育課程の編成**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-3** | **教育課程の編成・実施方針に基づき、次に掲げる事項を踏まえ、獣医師として求められる基本的な知識・技能・態度を養成するための教育課程を体系的に編成していること。****（１）獣医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容を網羅したコア科目を適切に配置していること。****（２）獣医学教育（学士課程）の目的に基づいたアドバンスト科目を適切に配置していること。****（３）獣医師としての資質を涵養するために特別研究（卒業研究）を課していること。****（４）獣医師の社会的責務を体得させ、実地教育の一層の充実を期するために実地研修（インターンシップ）を課していること。** | **・教育課程の編成・実施方針に沿った適切な授業科目の体系的な配置****・独自の教育カリキュラムの編成とその適切性****・獣医師育成に向けた各大学の特色ある講義・実習****・「モデル・コア・カリキュラム」と「アドバンスト・カリキュラム」の適切な配置****・講義とそれに関連した実習の連動性****・リサーチマインドの涵養に配慮した教育課程の編成****・学生の獣医師としての多様なキャリアパスを意識した科目の設定** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：教育の実施**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-4** | **教育課程を実施するにあたって、効果的な授業形態や方法が用いられていること。** | **・講義、実験、演習、実習など科目に応じた授業形態****・アクティブラーニング講義、問題基盤型学習（ＰＢＬ）、体験学習、実験、臨床実習、インターンシップ、海外派遣、遠隔授業やWEBを活用した学習、研究室配属、学会等での研究発表など、多彩な教育方法の採用****・共同教育課程においては、遠隔講義、学生移動、教員移動など教育方法の工夫とその効果** |
| **2-5** | **教員の監督・指導のもと、適正に実習を実施していること。** | **・受講者数に対して適正な数の教員の配置****・TA・SAの配置** |
| **2-6** | **動物死体を活用した解剖学教育及び病理学教育を適正に実施していること。** | **・動物種（小動物、産業動物、鳥類等）ごとの実施状況****・解剖学教育における代替法の利用とその効果** |
| **2-7** | **学生が授業科目を体系的に履修できるよう、履修指導を適切に行っていること。** | **・カリキュラムの体系性、学生が修得すべき知識・技能との関連性を可視化する仕組み（例えば、カリキュラムマップの策定など）** |
| **2-8** | **授業の目的、到達目標及び授業概要等が明示されたシラバスを作成し、それに基づいた授業を行っていること。** | **・時間割の明示****・適切な内容で構成されたシラバスの整備及び明示****・シラバスの記載内容を改善する仕組み****・授業内容とシラバスとの整合性の確保** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：総合参加型臨床実習体制の整備**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-9** | **総合参加型臨床実習の管理運営体制が整備されていること。** | **・総合参加型臨床実習の管理運営体制****・総合参加型臨床実習に関するマニュアルの整備****・飼い主への説明と同意書の取得** |
| **2-10** | **総合参加型臨床実習の指導教員の条件が明示され、必要な教員が配置されていること。また、必要な病院専任獣医師、研修獣医師、動物看護師等の支援スタッフが配置されていること。** | **・総合参加型臨床実習の指導教員の要件（例えば、臨床経験年数や専門性など）の明確化****・総合参加型臨床実習を担当している指導教員数及び臨床教員、病院専任獣医師、支援スタッフ（研修獣医師、動物看護師）等の数** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：臨床能力向上のための教育**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-11** | **臨床実習開始前に学生の知識・技能・態度の評価を行い、総合参加型臨床実習を行う学生の質の担保を図っていること。** | **・臨床実習開始前に達成すべき基本的知識・技能・態度の到達目標の設定とその評価****・臨床実習開始前の共用試験（vetCBT、vetOSCE）の利用****・共用試験の成績の把握** |
| **2-12** | **患畜の安全に配慮しつつ、臨床能力の向上のための教育カリキュラムを整備していること。** | **・臨床実習用シラバスの整備及び明示****・臨床実習の内容****・臨床実習の形態** |
| **2-13** | **附属獣医学教育病院等において、総合参加型臨床実習等のために十分な数の患畜（症例）を診察していること。** | **・学生１人あたりの症例数、ハンズオン実習として係わった症例数等に配慮した実習時間の設定・実施****・十分な症例数を経験できなかった際の補完教育の実施** |
| **2-14** | **総合参加型臨床実習に際して、獣医療行為に関する教育が行われていること。** | **・学生が行う獣医療行為に関するガイドラインの策定****・学内・学外実習先の施設利用マニュアルに基づく教育****・個人情報保護等に関する講義やセミナーの実施及びその時期****・実習に際しての学生の保険加入状況** |
| **2-15** | **卒業時の臨床能力が明示され、総合参加型臨床実習において修得した能力を評価するシステムを有し、臨床能力を担保していること。** | **・臨床実習を通じて修得すべき基本的知識・技能・態度の到達目標の設定とその評価** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目： 成績評価・卒業認定**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-16** | **成績評価の基準・方法を適切に設定し、あらかじめ学生に明示していること。** | **・シラバスや学部要覧等における成績評価基準・方法の明示** |
| **2-17** | **設定された成績評価の基準・方法により、成績評価を公正かつ厳格に実施していること。** | **・成績の告知方法****・臨床基礎実習等を含む成績評価****・成績分布等を用いた成績評価の妥当性の検証（例えば、ＧＰＡの活用など）** |
| **2-18** | **進級判定基準を設定・明示し、適切な評価・判定を行っていること。** | **・進級判定基準の内容と周知方法****・進級判定のプロセス****・関連委員会・教授会における進級判定の実績****・留年者及び退学者等の状況** |
| **2-19** | **成績評価の公正性・厳格性を担保するために、学生からの成績評価に関する問い合わせ等に対応する仕組みを整備し、かつ、学生に対して明示していること。また、その仕組みを適切に運用していること。** | **・学生への成績評価の開示****・学生からの成績評価に対する問い合わせ制度（不服申し立てを含む）の整備、周知、運用** |
| **2-20** | **学位授与方針に基づき、公正かつ厳格な卒業認定を行っていること。** | **・修得すべき知識・技能・態度など期待する学習成果を踏まえた卒業認定の基準、方法の明示****・卒業認定における公平性・厳格性の担保** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：教育成果の検証**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **2-21** | **学生の学習成果、卒業者の進路状況等を把握・分析し、教育上の成果を検証していること。** | **・学生の学習成果（修得すべき知識・技能・態度など期待する学習成果の達成状況）の把握・分析****・卒業生の進路及び活動状況（例えば、国家試験合格状況、大学院進学の状況等）の把握・分析****・把握・分析結果を踏まえた教育成果の検証** |
| **2-22** | **検証した結果を教育内容・方法の改善に活用していること。** | **・検証結果を活用したカリキュラムや授業内容・教育方法の改善事例** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

# **３　教育研究等環境**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：獣医学教育の実施に必要な施設・設備**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **3-1** | **獣医学教育の実施に必要な教育施設・設備を適切に整備していること。** | **・講義室、実習・実験室、研究室、スキルスラボ等の獣医学教育に必要な施設・設備の整備****・談話室、自習室、コンピュータ室等の学生の自学自習に必要な施設・設備の整備** |
| **3-2** | **獣医学教育及び研究に必要な学術情報資料を整備し、学生及び教員が適切に情報を入手できるよう対応していること。** | **・図書館の整備****・獣医学教育及び研究に必要な学術情報資料の集積****・効果的な利用の促進** |
| **3-3** | **附属獣医学教育病院の施設・設備を総合参加型臨床実習等の教育に活用できるよう整備していること。** | **・診察室、処置室、検査室、入院室、カンファレンスルーム等の必要な施設・設備の整備****・獣医学教育病院を活用した教育の実施状況****・施設・設備が不足している場合の補完****・卒後教育の場としての活用** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：附属施設の整備**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **3-4** | **獣医学教育（学士課程）の特徴を生かした施設を設置し、教育研究に活用していること。** | **・専門に特化した研修センター等（例えば、公衆衛生研修センター、野生動物臨床研修センター、毒性安全研修センター、獣医熱帯病研修センター等）の設置と利用状況****・附属施設における研究等への学生の参画** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：各種実験・研究・診療活動に関する環境整備**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **3-5** | **動物実験倫理・動物福祉に配慮した実験動物の飼養に関する施設・設備を整備していること。** | **・飼育室、準備室、保管・管理室など動物施設の整備****・飼育環境の適切な管理****・実験の審査体制・教育訓練体制の整備と適切な実施** |
| **3-6** | **動物実験を行うにあたり、倫理・福祉に配慮した動物実験に関する学内規則・管理マニュアル等を整備し、監督指導する委員会を設置していること。** | **・動物実験に関する学内規則・管理マニュアル等の整備****・動物実験を監督指導する委員会の設置と活動状況** |
| **3-7** | **病原体等利用実験に関わる法律等に基づいた学内規則・管理マニュアル等を整備し、監督指導する委員会を設置していること。** | **・病原体等利用実験に関する学内規則・管理マニュアル等の整備****・病原体等利用実験を監督指導する委員会の設置と活動状況** |
| **3-8** | **遺伝子組換え実験に関わる法律等に基づいた学内規則・管理マニュアル等を整備し、監督指導する委員会を設置していること。** | **・遺伝子組換え実験に関する学内規則・管理マニュアル等の整備****・遺伝子組換え実験を監督指導する委員会の設置と活動状況** |
| **3-9** | **研究倫理や研究・診療活動の不正防止に関する規定を明文化し、適切な組織のもとでこれらを遵守するよう取り組んでいること。** | **・研究倫理や研究・診療活動の不正防止に関する規程の整備****・関連する委員会等の組織の設置と活動状況** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：国際性を踏まえた教育環境の整備**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **3-10** | **国際感覚と社会的な教養を備えた獣医師を養成するための環境を整備していること。** | **・グローバル人材の育成に向けた取組み（例えば、海外の諸機関との連携、教育・研究成果の国際的な発信など）** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

# **４　学生の受け入れ、支援**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：学生の受け入れ方針、入学者選抜の実施**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **4-1** | **学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて学生の受け入れ方針を定め、求める学生像や入学者に求める水準等の判定方法等を明確にしていること。** | **・学生の受け入れ方針の策定****・学生の受け入れ方針における求める学生像、入学者に求める水準等の判定方法の明示** |
| **4-２** | **学生の受け入れ方針に基づき、入学者の適性を的確かつ客観的に評価するための選抜方法・手続等を設定していること。** | **・学生募集方法と入学者選抜方法の適切性****・多様な人材に修学の機会を与える視点****・入学者選抜における入学者の学力の担保** |
| **4-3** | **学生の受け入れ方針や選抜方法・手続等をあらかじめ公表していること。** | **・学生の受け入れ方針及び選抜方法・手続の募集要項やホームページ、説明会等を通じた公表方法** |
| **4-4** | **入学者選抜を責任ある実施体制のもとで、適切かつ公正に実施していること。** | **・入学者選抜の組織体制****・入学者選抜の手続の明確化****・入学者選抜の公正性を確保するための仕組み** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：定員管理**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **4-5** | **入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理していること。** | **・以下の比率や動向を注視した適正な定員管理****‣入学定員に対する入学者数比率****‣収容定員に対する在籍学生数比率** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：学生支援**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **4-6** | **学生生活に関する相談・支援体制を整備し、適切に支援していること。** | **・獣医学教育（学士課程）の対象となる学生に対するカウンセリング等の相談・支援****・学内外の実習等におけるハラスメント防止のための体制の整備・対応** |
| **4-7** | **適切な支援体制のもと、学生の自主的な学習を促進させるよう取り組み、学生の能力に応じた補習・補充教育を実施していること。** | **・予習・復習等の相談・支援****・成績不振者への指導体制****・スキルスラボの活用** |
| **4-8** | **適切な支援体制のもと、多様な学生が学習を行っていくための支援を実施していること。** | **・障がいのある学生、留学生など多様な学生に対する修学支援****・獣医学教育（学士課程）の対象となる学生に対する経済的支援** |
| **4-9** | **適切な支援体制のもと、進路選択・キャリア形成に関する相談・支援を実施していること。** | **・獣医学教育（学士課程）の対象となる学生に対する進路選択・キャリア形成に関する相談・支援** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

# **５　教員・教員組織**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：教員組織の編制**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **5-1** | **獣医学教育（学士課程）を支える教員組織の編制方針を策定していること。** | **・教育課程との連動や教育研究を推進するうえで必要となる教員をどのように配置するかという考え方****・教員に求める能力・資質の設定（選考基準）** |
| **5-2** | **獣医学教育（学士課程）を支える教員組織の編制方針に基づき、教育研究活動の実施に必要な教員を分野ごとに適正に配置していること。** | **・編制方針に沿った教員の配置****・教授、准教授、講師、助教の適切な比率と配置****・各分野（導入・基礎、病態、応用、臨床（小動物・産業動物））への教員の適切な配置****・総合参加型臨床実習に必要な資質・要件を持つ教員の配置** |
| **5-3** | **コア科目及びアドバンスト科目を実施するにあたり、適正な担当者を配置していること。** | **・コア科目への基幹教員の配置状況****・各科目に関連する研究業績又は専門職経験を有する担当者の配置** |
| **5-4** | **学生数に対する教員の比率が適切であること。** | **・学生数に対する教員の比率を踏まえた教育体制の適切性** |
| **5-5** | **持続可能性や多様性（性別、国籍等）に配慮して教員組織が適切に編制されていること。** | **・女性教員、外国人教員の比率、年齢構成、獣医師免許保有状況等に対する配慮** |
| **5-6** | **獣医学研究を遂行し、将来の獣医学研究を担う人材育成に資する研究力を有していること。** | **・研究に対する考え方（方針）の明示****・研究成果の教育への活用****・研究に対する第三者からの評価** |
| **5-7** | **教員の募集・採用・昇任を適切に行っていること。** | **・教員の任用に関する規程の整備****・教員人事の手続における透明性と適切性の担保****・公募制、任期制等の教員の活動を活性化させる仕組みの導入** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：教員の資質向上等**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **5-8** | **教員の資質向上を図るための体制を整備し、組織的な研修及び研究を定期的に実施していること。** | **・教育内容・方法等の改善を目的とした研修及び研究（ＦＤ等※）を組織的に行う体制****・教育内容・方法等の改善を目的とした研修及び研究（ＦＤ等※）の活動実績****※大学運営に係る教職員に対する研修（ＳＤ）、教育補助者（TA等）に対する研修などの仕組みを含む** |
| **5-9** | **基幹教員の教育活動、研究活動、組織運営、社会との関係の形成・社会貢献等について、適切に把握・評価していること。** | **・各教員の講義負担・実習負担の把握****・教員個人による教育研究活動等に対する自己点検・評価の実施****・教員個人による教育研究活動等の自己点検・評価結果の公表****・教員の教育研究活動評価システムの構築・実施** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

# **６　自己点検・評価**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：自己点検・評価**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **6-1** | **組織的な自己点検・評価に関する体制を整備していること。** | **・組織レベル・個人レベルでの自己点検・評価のための体制構築** |
| **6-2** | **教育研究活動について組織的・継続的な自己点検・評価を行っていること。** | **・教員の教育研究活動評価を踏まえた組織的な自己点検・評価の実施****・定期的な自己点検・評価の実施** |
| **6-3** | **学外の有識者による第三者評価を受けていること。** | **・機関別認証評価や法人評価、分野別評価（国際認証等）の第三者評価の申請と評価結果の受領** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：結果に基づく教育研究活動の改善・向上**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **6-4** | **自己点検・評価及び第三者評価の結果を教育研究活動の改善・向上に結びつけていること。** | **・自己点検・評価及び第三者評価の結果に基づく当該獣医学教育組織の活動全般に関する改善・向上を図るための計画の策定****・獣医学教育組織の活動全般に関する改善・向上を図るための計画の実行及び具体的な改善** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

**項目：情報公開**

|  |  |
| --- | --- |
| **評価の視点** | **評価のポイント** |
| **6-5** | **自己点検・評価及び第三者評価の結果を含む獣医学教育（学士課程）に関するさまざまな教育情報について適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。** | **・自己点検・評価及び第三者評価の結果の公表****・説明責任を果たすための情報公開における工夫****・獣医学教育（学士課程）のウェブサイトの整備****・ウェブサイトの定期的な更新** |

**＜概評＞**

**＜提言＞**

**（１）長所**

・

**（２）特色**

・

**（３）検討課題**

・

**（４）是正勧告**

・

**＜質問事項等＞**

**○質問事項**

（１）

**○確認を希望する資料、施設等**

・

・

# 【総合評価】

＜認定の可否＞　　　（　可　　否　）

＜総評＞

○○大学○○学部○○学科は、大学の目的である「○○○○○○○○○○○○○○○○○○」のもと、固有の目的として「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」を掲げ、教育研究活動を展開している。

この目的を達成すべく、教育課程においては、「○○」「○○」「○○」の科目群を設け、学年に応じて段階的に履修することができるよう体系的なカリキュラムを編成している。また、教育方法として、○○や○○を取り入れており、総合参加型臨床実習においては、○○○○○などの工夫がみられる。

なかでも、教育において○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことは、○○○○○○○○○○○○○の達成に有効な取組みであり、○○○○○○といった成果に結びついていることは高く評価できる。また、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことは、○○○○○○の観点から特色ある取組みといえる。そのほか、教員組織において○○○○○○○○していること、学生支援において○○○○○○○○○○を実施していることは、効果的な教育を支える取組みとして評価できる。

一方で、以下の点については、課題が見受けられる。

まず、教育課程において、○○○○○○○○が十分に整備できておらず、○○○○○が生じていることは課題である。○○○○○○という固有の目的を達成するためにも、○○○○○○○○○○するよう改善が求められる。次に、教員組織において、○○○○○○○○が不足していること、○○○○が十分でない点に課題が見受けられる。教育の水準を向上させるためにも、○○○○することが望まれる。さらに、学生の受け入れにおいて、○○○○○○の問題を継続して抱えていることから、当該課程においても○○○○○○○○○○○○に着手しており、この成果を検証しつつ、一層の改善に努めることが期待される。

これらの点を改善するためにも、今回の獣医学教育評価の結果を活用し、改善に向けて今後も継続して自己点検・評価活動に取り組み、獣医学教育（学士課程）の質のより一層の保証・向上を図ること、さらには、当該課程の特色をさらに伸張していくことを期待したい。

以　上